

第69回全国乳児院研修会 開催要綱

1. 趣 旨

改正児童福祉法が施行され、妊産婦等生活援助事業や子育て短期支援事業など地域で生活することもや家族への支援が強化されました。

乳児院は、これまでの専門養育・支援の質の向上と充実に加え、高機能化・多機能化に関する事業についても取り組みを一層進めていく必要があると考えます。

本研修会は、乳児院職員に必要とされる専門的な養育・支援に関する知識や技術等を学ぶとともに、実践報告や分科会を通じて各施設の取り組みを共有し、乳児院職員としての専門性を向上させることを目的として開催します。

2. 主 催

社会福祉法人全国社会福祉協議会 全国乳児福祉協議会

3. 後援(予定)

こども家庭庁

4. 期 日

令和8（2026）年 **7月14日（火）** ～ **7月15日（水）**（2日間）

5. 会 場

グランキューブ大阪（大阪府立国際会議場）
〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島5丁目3-51



6. 参加対象

乳児院施設長もしくは代行者、法人役員、乳児院職員、
児童福祉施設職員、行政職員、社会福祉協議会職員、
その他乳幼児養育・保育に関心のある方

本研修会は、『第3版 乳児院の研修体系』（令和7年5月、全国乳児福祉協議会）のなかで、全国で行うべき研修として位置づけられている“乳児院の中級以上の職員（概ね3年目以上、またはそれに等しい業務経験と研修履歴のある職員）”を対象とした研修です。

本研修修了者には、『研修体系』に基づいたポイント（5ポイント）が付与され、「受講証明書」を発行いたします。

7. 参加費

20,000円（宿泊費・食費・交流会費は含みません）

8. 定 員

300名（先着順）

9. 日程・プログラム(予定)

【 】内はプログラムに関連する『研修体系』領域
(別紙「本研修会で取り上げる『研修体系』の領域(①～⑨)と主な内容」参照)

■ 第1日 7月14日(火)

時 間	プログラム
12:00～13:00	受 付
13:00～13:05	開 会
13:05～13:35 (30分)	基調報告【全領域】 全国乳児福祉協議会
13:35～13:45	休 憩(10分)
13:45～15:15 (90分)	講演「こどもの気持ちを聴く・受けとめる」【③④】 山梨県立大学 福祉コミュニティ学科 浅田 明日香氏
15:15～15:30	休 憩(15分)
15:30～16:00	説明
16:00～17:00 (60分)	研究報告「乳児院からの措置変更時期の子どもへの支援に関する実態調査」【⑧】 東京大学大学院教育学研究科 森末 一代氏
17:00～17:15 (15分)	「資生堂児童福祉海外研修報告」【全領域】 資生堂子ども財団
18:00～20:00	交流会(自由参加)

■ 第2日 7月15日(水)

時 間	プログラム
9:00～15:00 ※昼食休憩含む	分科会
	第1分科会【①⑦⑧】 発表分科会① テーマ：家庭支援事業※の取り組みについて ※子育て短期支援事業、養育支援訪問事業、一時預かり事業、子育て世帯訪問支援事業、 児童育成支援拠点事業、親子関係形成支援事業
	第2分科会【⑦⑧】 発表分科会② テーマ：産前産後の母子への支援について 例：妊産婦等生活援助事業、産後ケア事業、にんしん SOS、その他 自治体独自の産前産後の母子支援等
	第3分科会「口腔機能の発達と子どもへの食支援」【④⑤】 昭和医科大学 歯学部 口腔衛生講座 内海 明美氏
	第4分科会「アタッチメントとチーム養育」【④⑤⑥】 明治大学 文学部 心理社会学科 加藤 尚子氏

10. 分科会の内容

発表分科会①、②において発表いただける施設を募集しています。
詳細は、会員専用ページをご確認ください。(5/15 〆切)

第1分科会

発表分科会①

テーマ：家庭支援事業 の取り組みについて

令和4年の児童福祉法改正により、こども家庭支援センターが設置される等地域で生活するこどもや家族への支援が強化されました。

このような制度改正等を受け、乳児院にも地域で生活しているこども・家庭への支援への活躍が期待されています。

本分科会では、参加者から家庭新事業をテーマに実践報告を行っていただき、協議・交流を深めることを目的としています。

この機会にぜひ、日頃の実践に関する活動の成果をご発表いただき、多くの参加者と情報共有をいただきたく存じます。

第2分科会

発表分科会②

テーマ：産前産後の 母子への支援について

令和4年の児童福祉法改正では、妊娠期から産後の支援も強化され、妊産婦等生活援助事業が新たに始まるとともに、産後ケア事業が生後1歳までに延長されました。乳児養育の専門集団である乳児院には、その専門性を発揮することが期待されています。

本分科会では、参加者から産前産後の母子への支援をテーマに実践報告を行っていただき、協議・交流を深めることを目的としています。

この機会にぜひ、日頃の実践に関する活動の成果をご発表いただき、多くの参加者と情報共有をいただきたく存じます。

第3分科会

「口腔機能の発達とこどもへの食支援」

[講師] 昭和医科大学

内海 明美氏

乳児院では栄養士・調理師という専門家のもと個々の成長発達に応じて作った食事を養育者が楽しく食べれるよう工夫しながら提供しています。一方で、口腔過敏からか口に入れるのを嫌がる、食事に興味を持たないなど食における課題もあります。

本分科会では、乳幼児期の口腔機能の発達に関する基本的な知識や発達状況の確認方法、口腔過敏のあるこどもへの対応等、発達に応じた形態の工夫等食事場面での支援の意義について学びを深めるとともに、各施設における取り組みを共有します。

第4分科会

「アタッチメントとチーム養育」

[講師] 明治大学

加藤 尚子氏

この間の制度動向等もふまえ、乳児院においてより家庭的な養育環境とすべく小規模ユニットが増え、こどもの担当職員制を実施しているところも多くあります。

しかし、小規模養育を推進することで、個々のユニットや担当児に集中し、乳児院全体としてのチーム養育が困難になるなど課題もあります。

本分科会では、こどもとのアタッチメントについて学ぶとともに、参加者の乳児院における勤務の組み方や、職員間の情報共有方法などの取り組みを共有します。

11. 参加・宿泊・交流会等の申し込みについて

(1) 本研修会への参加申し込みは専用サイトよりお申し込みください。

<http://www.mwt-mice.com/events/nyujiin2026>

参加登録のお申し込み締切 **6月16日(火)迄**



- 専用サイトで、参加申し込みが完了された方には、登録いただいたメールアドレスに申込完了メールが配信されます。
- 参加費等のお振込み先は、請求書にてご確認ください。
請求書は、マイページ「お支払い」タブよりダウンロードいただけます。期日までにお支払いいただきますようお願いいたします。※別途、振込案内はお送りいたしません。
振込期日：令和8年6月23日(火)
注1：参加申し込み完了後、24時間以内に申し込み完了メールが届かない場合は、名鉄観光サービス(株) MICE センターまでご連絡ください。
注2：お使いのパソコン等でセキュリティのためメールの受信拒否設定をされている方は、「@mwt.co.jp」ドメインからのメールが受信できるようあらかじめ設定してください。
- 各締切日までの変更・取消は参加者ご自身にて専用サイトで変更等の操作をしてください。
- 締切日以降の変更・取消は、専用サイトのお問い合わせフォームからご連絡ください。お電話での変更・取消は致しかねます。
- 参加費入金後の参加取消は原則として返金対応を致しかねます。研修会資料の送付をもって代えさせていただきます。

12. 必要な配慮について

- 手話通訳、要約筆記、点字資料等、車いすを使用する等、必要な情報保障がございましたら、申し込みサイトの「その他」欄によりお知らせください。その他、不明な点やご要望がありましたら、下記事務局まで事前にお問合せください。

13. 申込書記入事項（個人情報）の取扱いについて

- 申込書に記入された個人情報は、名鉄観光サービス(株)が申込者との連絡の際に使用します。また、全乳協事務局に提供されます。
- 宿泊や交流会、昼食をお申込みの場合は、宿泊機関等の提供するサービスの手配や受領のための手続きに利用するほか、利用するにあたって必要とされる範囲内で当該機関等に提供します。
- 全乳協では、申込書に記載された事項のうち、「都道府県名」「施設名・所属名」「参加者名」「役職」をもとに、参加分科会・グループを加えて参加者名簿を作成し、当日資料として印刷します。参加者名簿は、参加者相互の情報交換・交流促進を図るための基礎的資料とすることが目的です。

■問い合わせ先■

(1) 研修会内容等

全国乳児福祉協議会 事務局（担当：真辺）
〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル
全国社会福祉協議会・児童福祉部
TEL 03-3581-6503 FAX 03-3581-6509 E-MAIL nyu-ji@shakyo.or.jp

(2) 参加・宿泊等

名鉄観光サービス株式会社 MICE センター
〒100-0013 東京都千代田区霞が関 3-3-2（新霞が関ビル内）
TEL：03-3595-1121/ FAX：03-3595-1119
（受付時間：平日 10：00～17：00 土日祝日休業）